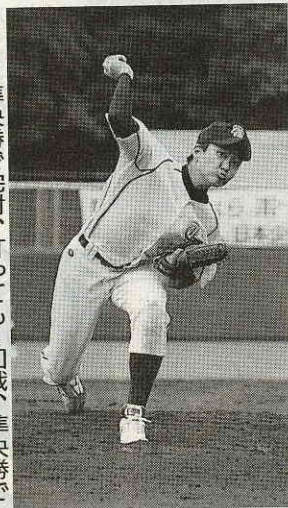


# 報知ボーイズリーグ スペシャル

▶▶ 準決勝で完封、打っても2回戦、準決勝で6打数5安打の東京ベイ・菊池



▶▶ 亀田 2回戦、準決勝で6打数5安打の東京ベイ



## 東京ベイ ボーイズ 猛打で決勝

東京都東支部  
2年生大会

東京都東支部の2年生大会が5月30日、江戸川区球場で準決勝までが行われ、東京ベイボーイズと足立ベルmontボーイズが決勝に進出した。東京ベイボーイズ打線が爆発した。2回戦の城南ドリームボーイズA戦。同点で迎えた3回、先頭の菊池魁斗が中越え一塁打で出塁。犠打で三塁に進むと、福田篤史の中前適時打で勝ち越す。さらに、川口流世、亀

田圭真、植村航大の適時打など、この回打者

◇東京都東支部2年生大会 5月30日・江戸川区球場

▽2回戦  
城南ドリームボーイズA  
010 030 ×1  
017 030 ×1  
116

東京ベイボーイズ  
(城) 香沢、加藤、伊藤、土屋  
(東) 清水、伊藤  
川口、中谷(以上東)

▽審判 広田(球)、田中、佐藤

▽準決勝  
江川ボーイズA

東京ベイボーイズ  
400  
440 2X0  
100

(江) 青崎、八幡、猿田、貞縄  
(東) 菊池、伊藤

▽審判 木村(球)、上村、高橋、坂部

12人で7得点。5回にも3点を加え、試合を決めた。

準決勝も止まらない。初回到伊藤弘法、菊池の適時打、高石将基の中犠飛などで4点を先制。

2回にも2死満塁から菊池の走者一掃の適時三塁打などで4点。投げても先発の菊池が、4回を5安打無失点。4回

2戦の5の6の亀田

選手名	年
中谷	2
福伊	2
藤中	2
濱高	2
植高	2
川高	2
亀高	2
菊田	2
池水	2
清水	2
也史	2
法郎	2
介大	2
基世	2
真斗	2
作炳	2
将篤	2
弘太	2
敬航	2
将流	2
圭魁	2
友秀	2

に高石の2点適時打で10点差。コールドを成立させた。2試合で6打数5安打の亀田は「上からバットが出るようになって、芯に当たるようになって」と笑顔。同じく6打数5安打の菊池は「打イミングが合っていた。打球も調子よかった」と胸を張った。指揮した安田太監督(30)は「ファーストストライクを狙っていた。でも、打撃はたまたまです」。強力打線を武器に優勝を指す。